

「窓から穴道湖を臨み」「広がる青空」
緑に恵まれた玉湯の丘で期待に応える病院を目指します。

玉造厚生年金病院広報誌

たまつくり

ノウ

No.19

2010年 春号



理 念

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。

Contents

定年を迎えて20年を振り返る	2
電子カルテを導入して	2・3
3つの無菌手術室	4
新たに無菌室を増設しました	5
マリちゃんのあるいた夢	4・5
かかりつけ医のご紹介	7

人口関節OP件数 6,693件 (4月1日現在)



定年を迎えて 20年を振り返る

玉造厚生年金病院 院長 上尾豊二

私は平成2年の4月1日に玉造厚生年金病院に院長として着任した。当初、院長室からの穴道湖を見下ろす窓外の景色の美しさに圧倒された。それも見慣れた景色となって早くも20年が経過しようとしている。

当院は社会保険庁のもとに潤沢な厚生年金収入の運営益から資金を出し法律の定める福祉事業として病院運営がなされていた。厚生年金病院は設備備品の充実した働きやすい病院として赴任する医師に評価されていた。それは運営形態に理由があった。病院の土地建物、主要な設備は国有物品であり、必要に応じて予算化され支給される。一方、運営は民間組織である財団法人に任せられ独立採算が必須である。これは他の国立病院には運営費にも補助があったのと比較すると大いに異なる。国立病院は独立法人化されてやっと経営に目覚めたが厚生年金病院ではすでに50年の歴史があった。職員皆に経営意識が高くアクティブであった理由である。私はこの病院の持つ活力に大いに助けられた。私が赴任した平成2年と現在の医療情勢を見ると大いに異なっている。医療費は毎年抑えられ、病院の倒産が多発するほど経営の難しい時代となった。当院も着任当時の入院病床数341床が現在は253床にサイズダウンした。これは入院日数の短縮化と医師看護師の不足が一番影響している。そこで病院運営方針も手広い領域の診療を行うのではなく、専門領域に特化して高度の医療

を行う整形外科での最終病院を目指した。百貨店より専門店の時代である。このこともあって手術件数は平成2年の1059件が平成21年では1408件と増加している。入院日数の短縮が診療報酬の確保の点からも必須となった。ダウンサイジングと高機能化は時代の流れともいえる。時代の流れに適応して変身して来られたことが常に黒字の運営を達成できたことの理由と考えている。高度の診療には高度の設備がある。MRI、CT、骨密度測定装置を充実し、レントゲンのコンピュータ化、院内携帯電話による連絡システムを構築した。診療情報室による患者データベースは当初無かったものである。紙カルテは廃止し電子カルテに移行し患者情報の欠損をなくして安全性を高め、院内のどこからでも患者情報に接することができるようになった。病棟には診察室、面談室、休憩室を設置してアメニティの向上を行い、療養環境の向上に努めた。入院治療の効率化を図り、今ではほとんど全てがクリニカルパスにしたがって進行している。

人工関節センター、脊椎外科センターを開設し、回復期リハビリテーション病棟を2棟設置し地域の高齢化による疾病変化に対応した。入院、手術、リハビリと一貫した治療を完結して自宅へ退院することに努め患者様の満足を得ている。我々は短期で退院を強制する必要はない。開業医や他の病院との連携を深めるように会合を積極的に持っている。医療では個人的なつきあいがとても大切である。

あっと言う間の20年であったが皆様の支持を得て無事に過ぎていきそうである。今年は医療スタッフも充実し、診療報酬改訂も病院には悪くなさそうである。玉造病院の益々の発展を期待して退職できる幸せを感じている。

電子カルテを導入して



滝上 潤
医療情報室

電子カルテのデメリットの解消

近年、医療の世界だけでなく一般社会でも「電子カルテ」という言葉を多く聞くようになったと思います。電子カルテには多くのメリットがありますが、反面そうでない部分もあります。一般的な例として、現在の医療においては、何よりも患者さまとのコミュニケーションが重要視されていますが、実際の現場では、医者は診察と同時にパソコンの操作を行う必要があるため、患者様に向かって話す時間が減りがちになり、結果としてコミュニケーションが十分でなくなるとの意見もあります。当院では、このような状態を解消すべく、各診察室に看護スタッフを配置すると共に、電子カルテの操作の簡略化を進め、より患者さまとのコミュニケーションがはかれるよう対応に努めております。患者さまの立場から見ると、電子カルテが導入されたからといって、劇的に何かが変わったわけではないと思いますが、診療の現場では、電子カルテを最大限に活用し、より良い診療が提供できるよう医療情報室としてサポートしていきたいと思っています。



池田 登
整形外科

電子カルテの功罪

昨年の7月から電子カルテが導入された。入院中のオーダー等には、7年前からオーダーリングシステムが取り入れられており、診療情報のIT化はある程度、実現していたが、オーダーリングシステムと電子カルテとははるかに異なる。時代でいえば明らかに昭和と平成の差があるように思える。

電子カルテには多くのメリットがある。昔医者の記載するカルテと言え、日本語混じりのドイツ語やら英語やらで書かれて、意味不明・判読困難なイメージがあった。しかし電子カルテでは字はワープロで記載されるため、判読しやすい。診察中の患者さんもまた電子カルテを覗き込んで“先生、ここ違います”と指摘されたりすることすらある。独自のパターン化したワードパレット

を利用して、記載内容もより丁寧に、充実した内容の文章が構成できる。字を書くことの煩雑さが解消され、とかくカルテを書くことが少なかった医師達がカルテをよく書くようになった。

電子カルテのほかのメリットのひとつに医療情報の一元化がある。いつでも、どこからでも、だれに遠慮することなく、パソコンを立ち上げるだけで、患者情報、X線、検査所見を含めたカルテ内容を見ることができる。どこからでも適切な指示をだすことができるようになった。

電子カルテには操作上のメリットが多い半面、デメリットもある。まずはワープロに依存してますます漢字を忘れてゆくこと。肉体（特に運動器系）には決していいものでない。それは、診察中、つい夢中で電子カルテを覗き込むことがあり、悪い姿勢でパソコンに対峙すると、首や腰を痛める原因となる。くれぐれも電子カルテとは、いい姿勢でつきあっていただきたいと考えている。



手術室で手術中



ナースステーションでの入力



矢田 めぐみ
西3階病棟 看護師

パソコン画面と“にらめっこ”

昨年2月から準備をはじめた電子カルテ、操作練習、リハーサルを重ね予定通りの運用開始となりました。

当初は操作の不安もありパソコンの画面とにらめっこしている時間が多かったように思います。病室にパソコンを持って行き入力するというのに慣れず、ナースステーションに戻ってから記録をしていましたが、慣れてくると患者様の観察をしたり、話を聞いてその場で記録ができるので、看護記録全体の時間短縮になったと思います。また、わざわざナースステーションに戻ってカルテを開いて見なくても検査データや処方薬がその場で確認できるので、患者様から質問があったときにすぐ対応できるようになりました。

また、紙カルテの時は他部門の記録は一元化されていなかったため、なかなか見ることができなかったり、どこを見たいのか分からないこともありましたが、電子カルテになってからは患者様の情報を共有できるようになりました。今後は記録時間が短縮したことでベッドサイドケアに費やす時間が増えるようにしたいと思います。



病室での記録



整形外科外来受付



3つの無菌手術室



人工関節センター長
小谷 博信

変形性関節症や関節リウマチで変形・破壊された関節を人工の関節に置き換える人工関節の手術は、高齢の人口層の増加や人工関節自体の発展・進歩により、近年ますます盛んに行われるようになってきました。

人工関節手術によって、関節の痛みはほとんどなくなり、曲がった脚もまっすぐになりますので、画期的な手術となっており、手術によって、より快適な日常生活が送れるようになります。そのため、日本においても、年間の人工関節手術は、膝関節は6万例、股関節は3万例、人工骨頭手術は5万例（いずれも年間の発売数）を越えると推定されています。

今後はまだまだその実施数は増加していくと思われます。

当院では、日本の先駆者的に1973年から人工関節手術にとりくんでおり、年間約400例の人工関節手術を行っており、当初から現在までに6659例（2010年3月1日現在）の経験があります。

人工関節手術を行う無菌手術室（クリーンルーム）を以前は1室だったのを、手術の増加に伴い、2003年に2室に増設して対応してきました。しかし、今後

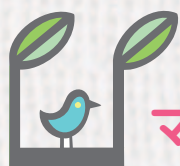
さらに手術の増加が見込まれるため、今春3室に増設しました。

また、玉造人工関節センターを2005年10月に開設して、総合的に、より安全に、より充実した人工関節手術とリハビリを行ってきています。その手術やリハビリの技術を全国の医療関係者（医師、ナース、理学療法士など）が研修できるように、センターのラーニングとして受け入れており、すでに100数十人が研修に参加されています。

今後は3つの無菌手術室によってさらに充実した人工関節手術が行えるものと期待できます。



第3無菌手術室（新設）



マリちゃんのあるいた夢

昭和33年という、今から52年前、この病院、正確には厚生団という愛称で親しまれていた、以前の温泉街にあった病院に、「マリちゃん」という8才になる女の子が入院していました。

マリちゃんは生後10ヶ月になった夏、病気になりました。しかし夏風邪だと油断していたため、小児マヒと診断されたときには、もう手遅れになっていました。

病気は、一進一退の状態でしたが、やがて一年遅れて小学校に入学、お母さんに背負われて、1キロの道を通いました。しかしそれも長くは続きませんでした。

手足のマヒがひどくなって来たためです。

心配したお父さんは、玉造温泉にあったこの病院にマリ



リハビリテーション科
桑原 和義

ちゃんを連れてきました。マリちゃんはここで、それから1年3ヶ月に及ぶ長い病院生活をおくることになります。

入院している間にマリちゃんは詩を書きはじめました。何回もの手術の合間を縫って、たくさん詩を書き続けました。

昭和35年（1960年）3月、全国の民間放送局が集まり「番組コンクール」が開かれました。このときに米子市にあるBSS山陰放送が制作した「小児まひとマリちゃんの詩」が、中四国地方で一位になり、さらに全国大会へと進みました。マリちゃんが10歳の時のことです。

この番組が、「夏の思い出」「小さい秋みつけた」「雪の降る町を」などを作曲した「中田喜直」の目にとまり、こ

新たに無菌室を増設しました



手術室看護師長
空先江見子

当 院の無菌手術室（クリーンルーム）は2室から3室になりました。無菌手術室（クラス100）とは空気の汚れを取り除いた部屋のことです。アメリカ航空宇宙局（NASA）が定めた単位でクリーン度を示すものであり、一般の手術室の基準の100倍クリーン度が高く無菌の状態です。

整形外科、特に人工関節置換手術では、無菌状態の清潔な環境下で手術をおこない、手術後の感染を防ぐ必要があります。

このたびの増設にて、1日に手術できる患者さまの数を増やすことができます。手術まじりの患者さまが少しでも早く手術が受けられ、関節の痛みから解放されて日常の暮らしがらくになってほしいという願いからです。

そして当手術室では、感染防止だけでなく安全の視点から患者確認や手術部位誤認防止に細心の注意を払い行っています。また患者さまが手術室に入ってこられるとき、笑顔でお迎え、天井壁を空の模様にかえたり、入室されたのちもミュージックで緊張が和らぐように配慮しています。

手術室医療スタッフは、整形外科医



手術室カンファレンスルーム



青空模様の入室室天井

師、麻酔科医師、看護師、レントゲン技師、検査技師などが協力して患者さまの治療・看護をさせていただきます。

これからも患者さまご家族のみなさま方の要望や信頼に応えられるようにしていきたいと思っています。

の詩をもとにした合唱曲が生まれました。そして歌ったのが、あの「ボニー・ジャックス」でした。

この合唱曲は、沢山のコーラスグループで今でも歌い続けられています。

マリちゃんはその後も詩を作り続けているのでしょうか、お元気でしょうか…きっとそうだと思います。

新しく白濁看護部長さんが赴任されてこられたときに、このお話をしました。

玉造厚生年金病院の職員コーラス「フォレストアンサンブル」のコンサートで「入院している方々に披露してはどうでしょう」と話がまとまりかけたのですが、グループを指導される野津美和子（プロオペラ歌手）先生から、曲の音域が少し高いので「ちょっと無理かな?」、そして「私のソロで」と先生がお一人で歌われました。素敵でしたよ。

それが「マリちゃんの歩いた夢」でした。

♪あるいたゆめ

ゆめのなかで
わたしはあるいた
ほこう車なく
わたしのあしであるいた
きれいなみち
あつちゃんと なあちゃんと
手をつないでこっちへくる
ゆうやけの中に
あかやきいろの花が一ぱいさいていた
あさおきて
うれしくて
お母ちゃんにそのはなしをしたら
かなしげなかおして
下をむぎなつた



体重やウエストではなく、脂肪細胞の肥大化(内臓脂肪面積)が問題！

成人以降、体の脂肪細胞数(体脂肪の許容量)は一定となるものの、かなり個人差があります。余った栄養はまず皮下脂肪に貯蔵され、そこがいっぱいになると内臓脂肪にまわってきます。脂肪を大量に貯蓄した状態の肥大化脂肪細胞は動脈硬化を進行させ、脳梗塞や心筋梗塞を起こしやすくします。皮下脂肪面積が小さくても、CTで測定した内臓脂肪細胞面積が 100cm^2 以上であれば、皮下脂肪がすでに満杯となって内臓脂肪細胞も満杯になりそうな状態であり危険なのです。



芦沢内科部長よりコメント

2010年3月1日より受付スタート

CT内臓脂肪測定健診のご案内

お腹の中の脂肪が、ひと目でわかります！

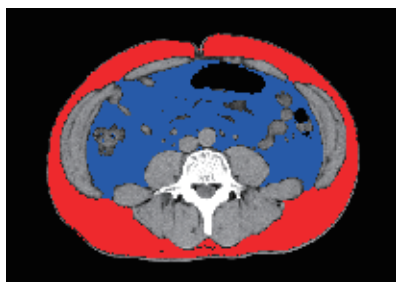


おへその位置でのCT腹部断面での内臓脂肪面積 **100 cm^2** 以上は危険！
あなたは大丈夫ですか？

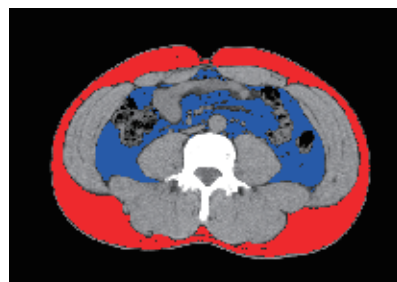


下の画像は、ほぼ同じ腹囲の別々の人のCT画像です。内臓脂肪の量が全く異なるのがわかります

▼内臓脂肪 優位型



▼皮下脂肪 優位型



■ 内臓脂肪
■ 皮下脂肪

内臓脂肪が付きすぎると、糖尿病・高血圧・高脂血症を招きます。これらが引き金となり、動脈硬化をおこし、脳卒中・心筋梗塞の危険性を高めます。諸悪の根源である内臓脂肪はお腹周りの計測だけでは正確にわかりません。

あなたも一度、CTスキャンでチェックしてみませんか？

検査はとっても簡単！

CT撮影台に寝ていただいて、
おへその位置の写真を撮ります

もちろん痛みは全くありません

検査時間は、約 **5** 分です



検査終了後、測定値と

診断コメントを表示した

測定結果用紙をお渡しします

検査費用は **2625** 円(税込)

(この検査は健康保険対象外となります)



**検査をご希望の方は、
地域連携室に
ご相談ください**

ぜひお気軽にお申し込みください

かかりつけ医のご紹介

医療法人 吉翔会 吉直整形外科クリニック

院長 吉直正俊



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:30	○	○	○	○	○	8:30 ~ 2:00	休
午後 2:30~6:30	○	○	○	休	○	休	休

■ 休診日／日曜日・祝日

■ 住所／〒691-0002 島根県出雲市西平田町242

■ TEL／0853-63-2020 FAX／63-3977

■ 診療科／整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・神経内科・循環器科

玉造厚生年金病院には、沢山の患者さんの手術をお願いし、またセカンドオピニオンの立場からアドバイスをして頂いています。

当院は、慢性的に起こる運動機能の低下に対して患者さん自身がしっかりと向き合っていただける医療組織、病気に対して少しは心晴れやかになって頂ける医療環境をご提供したいと、昭和60年に開業しました。整形外科、リハビリテーション科を中心に、専門外来として大学派遣医によるリウマチ科、神経内科、循環器科を開設。さらに、身体のリハビリテーションばかりではなく、より心晴れやかな気持ちになって頂けるように、心のリハビリテーションの場として、ぎやらりー「Hand&Hand」も併設しています。ギャラリーは患者さんのみならず広く地域の皆様に無料提供し、患者さんと出展者の方々とのコミュニケーション、闘病意欲を引き出すスペースとなっています。

一方、リハビリテーション科では理学療法士4名体制で丁寧な運動指導を心掛け、スポーツ選手にはS³スポーツサポーティングスタジオでフォーム分析・動作分析を行っています。また、疾病予防運動施設「E³メディカルフィットネス」を併設し、健康運動指導士がメタボも含めた病気にならないための身体作り、「ロコモティブ症候群・運動器不安定症」に陥らないための運動指導を担当しています。特に骨粗鬆症・高齢者の方にはチェアロビクス・マシントレーニングを取り入れた「転ばん体操教室」を毎週開催しています。



山口整形外科医院

院長 山口俊昌



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~13:00	○	8:30 ~ 12:00	○	○	○	○	休
午後 3:00~7:00	○	○	休	○	○	休	休

■ 休診日／日曜日・祝日

平成9年、前院長であった父の急逝にともない開業いたしました。大学卒業後約12年間、手術中心の医療をしておりましたが、開業後は松江本院、平田診療所の2院でそれぞれ、リハビリテーション、麻酔科医師によるブロック治療を中心に「切らない治療」を中心に行っています。

当院からやや遠い所にあるにも関わらず、手術をお願いする紹介先として玉造厚生年金病院を希望される患者様が多く、地域のなかでの評価やニーズの高さを感じております。当院も玉造厚生年金病院にお世話になりながら、患者様にとって敷居の低い診療所として微力ながら地域医療に貢献していきたいと思っております。



■ 住所／〒690-0842 島根県松江市東本町3-10

■ TEL／0852-21-2050 FAX／0852-21-2053

■ 診療科／整形外科・外科・リハビリテーション科

地域連携室 TEL 0852-62-1591 FAX 0852-62-1579

外来担当医師表

平成22年4月1日現在

診療科			曜日	月	火	水	木	金
整形外科	午前	初診		千束福司、石坂直也 中村健次	川合 準、大西祥博	池田 登、丸山善弘	石坂直也、吉田昇平	三河義弘、石部達也 (千束)月曜が休日の場合
		再診		石部達也、吉田昇平	池田 登、石坂直也 中村健次	千束福司、小谷博信 明石浩介	三河義弘、丸山善弘	川合 準、大西祥博
	午後	初診					小谷博信	
		再診			大西祥博、中村健次	千束福司		大西祥博
		人工 関節 外来		川合 準 (1・2・3・5週)		小谷博信		池田 登
		脊椎 外科 外来		石部達也				千束福司 第3週なし
内科	午前			芦沢信雄	落合康一	芦沢信雄	芦沢信雄	落合康一
	午前 (循環器)			大学医師 (13:00まで)				
神経内科					北山通朗 (15:00まで)			
脳神経外科							佐々木亮 (午前のみ)	
リウマチ科				川上 誠		川上 誠	川上 誠	川上 誠
歯科・口腔 外科	午前 午後	初診		原田利夫	原田利夫	原田利夫	原田利夫	原田利夫
		再診		野津一樹	野津一樹	野津一樹	野津一樹	野津一樹

(注) 整形外科は、手術及び検査の都合で担当医師が変更することがありますので、ご了承ください。初診・再診とも予約制です。

リウマチ教室のご案内

いつもリウマチ教室に参加していただきありがとうございます。今年も、年2回の予定でリウマチ教室を開催することが決まりました。日程については、下記のとおりです。皆様の参加をお待ちしています。

■第1回 日時：平成22年5月26日(水) 13:30~14:30
場所：当院 第一会議室
内容：「音楽鑑賞で心のリフレッシュしよう」
島根大学の学生による音楽鑑賞をお楽しみ下さい

■第2回 日時：平成22年10月1日(金) 13:30~14:30
場所：当院 第一会議室
内容：「簡単クッキング」
当院栄養士より簡単に出来る料理方法を紹介しします

*どなたでも参加可能です(当日参加可)。参加希望の方は外来看護師は病棟看護士にお申込下さい。不明な点があれば、看護士又は下記へご連絡下さい。
連絡先：玉造厚生年金病院 地域連携室 62-1591 (荒川まで)

365日リハビリをめざして

リハビリテーションは「できるだけ早い時期に、休まず、集中的に行うことが効果的」だと言われています。当院も土曜、日曜も手術直後の方を対象としてリハビリを行っています。今年度からスタッフも増員し、より多くの人を対象に休みなくリハビリテーションができるように準備をすすめています。



日本では、旧暦4月を卯月と呼んでいます。卯月の由来は、卯の花が咲く月というのが定説ですが、十二支の4番目が卯であることから「卯月」とする説や、稲の苗を植える月であることから「種月」「植月」とする説もあるようです。

また、4月は新年度、新学期の時期でもあり、初々しい新社会人や学生たちを多く見受けられる時期でもあります。当院でも新たな職員が加わりフレッシュな雰囲気が漂っており、今後の活躍に期待したいものです。

【表紙写真】無菌室での人工関節手術風景

玉造厚生年金病院

〒699-0293

島根県松江市玉湯町湯町1-2

TEL 0852-62-1560

FAX 0852-62-2546

ホームページ

<http://tamahosp.jp>

玉造厚生年金病院 地域連携室

TEL 0852-62-1591

FAX 0852-62-1579